

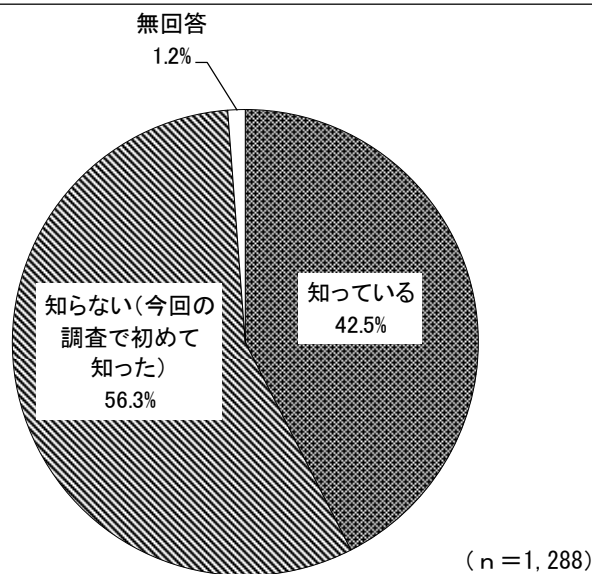
5 SDGsについて

(1) SDGsの認知度

問15 あなたは、SDGs (エスディーゼーズ)という言葉を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

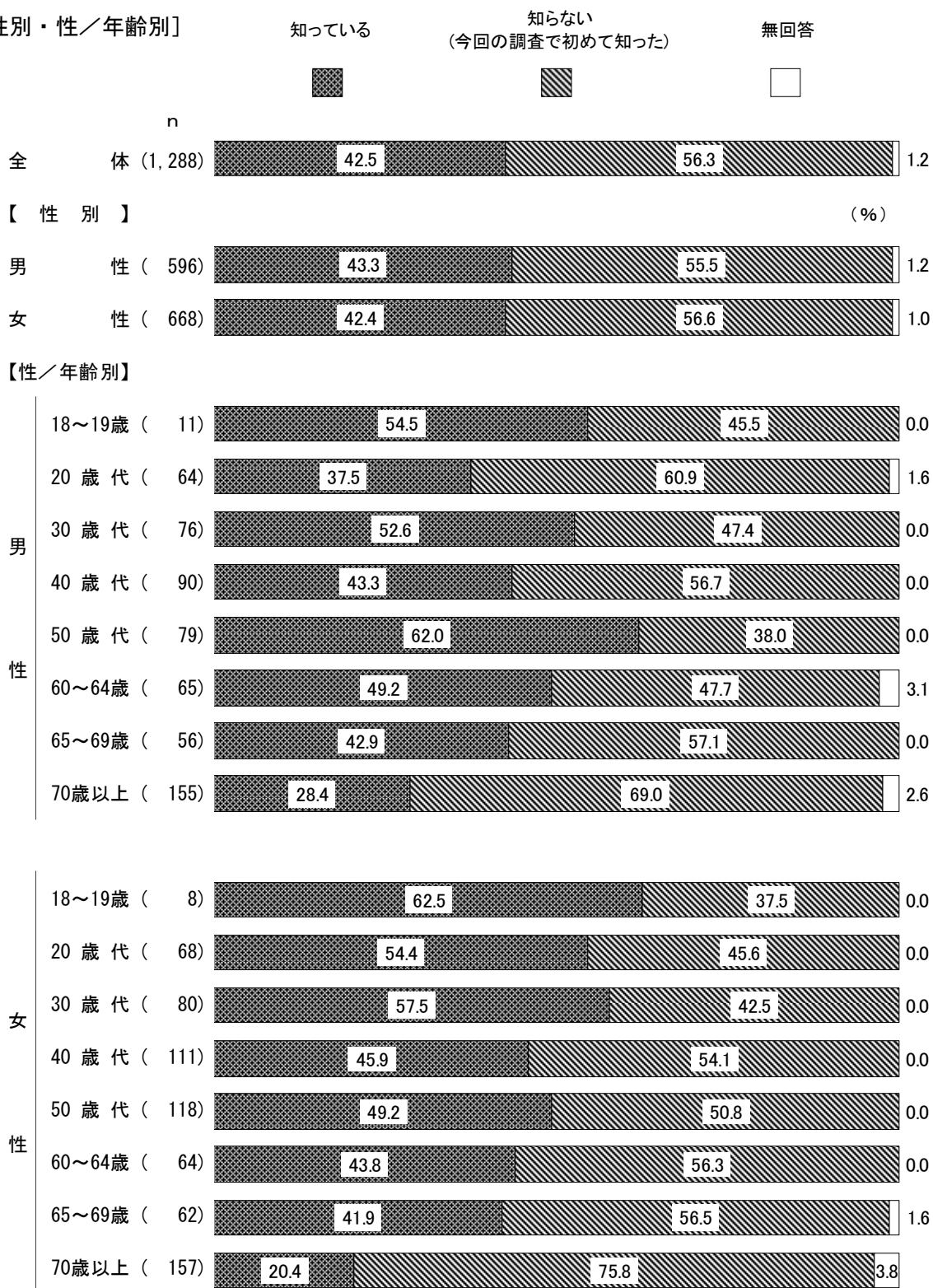
[n=1,288]

1 知っている	42.5%
2 知らない(今回の調査で初めて知った)	56.3
(無回答)	1.2



全体で見ると、「知っている」(42.5%)は4割を超えている。一方、「知らない(今回の調査で初めて知った)」(56.3%)は5割半ばとなっている。

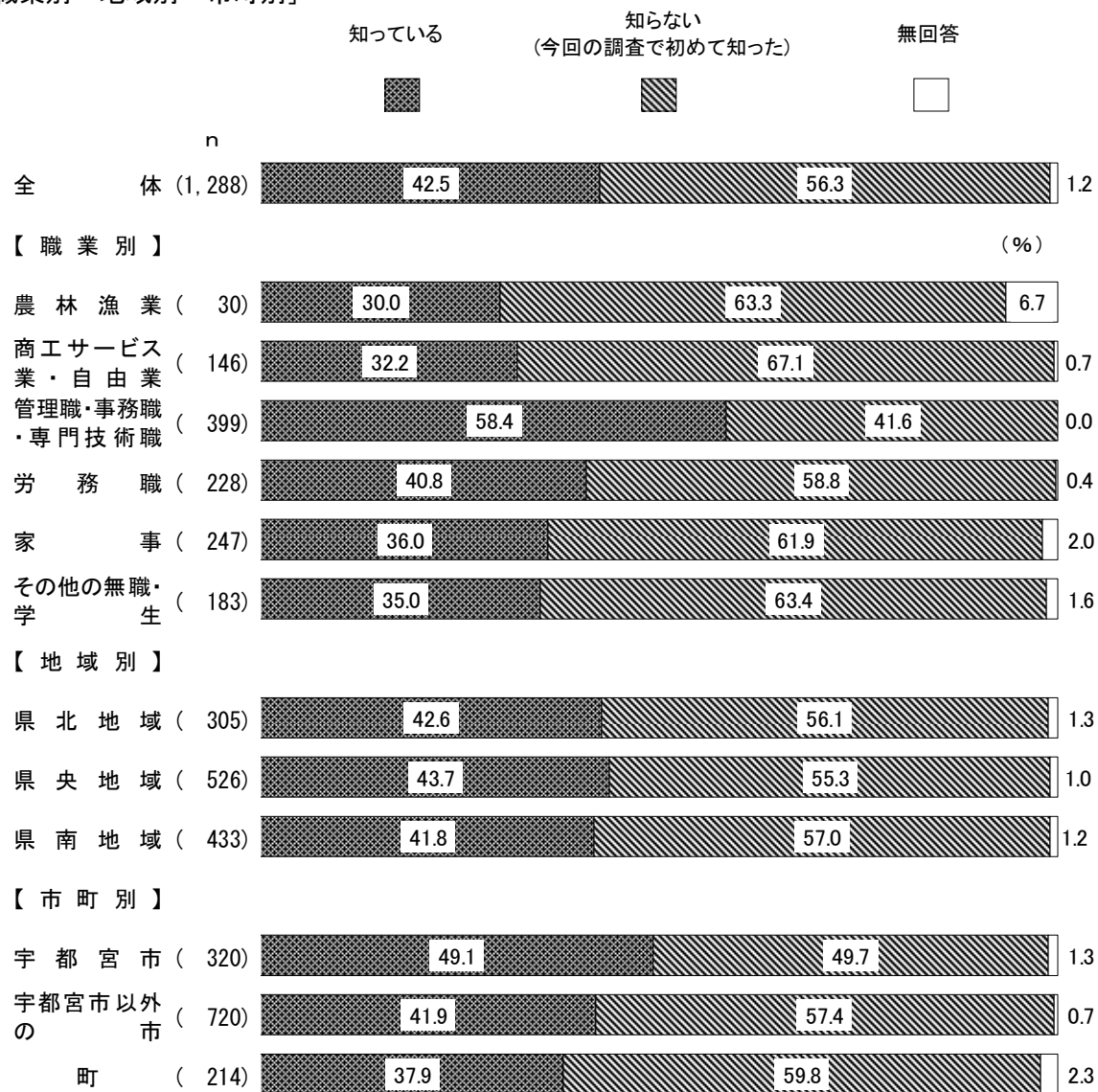
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「知っている」では〈男性50歳代〉が62.0%、〈女性30歳代〉が57.5%と高くなっている。一方、「知らない（今回の調査で初めて知った）」では〈女性70歳以上〉が75.8%、〈男性70歳以上〉が69.0%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、「知っている」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が58.4%と高くなっている。一方、「知らない（今回の調査で初めて知った）」では〈商工サービス業・自由業〉が67.1%と高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

市町別でみると、「知っている」では〈宇都宮市〉が49.1%と高くなっている。

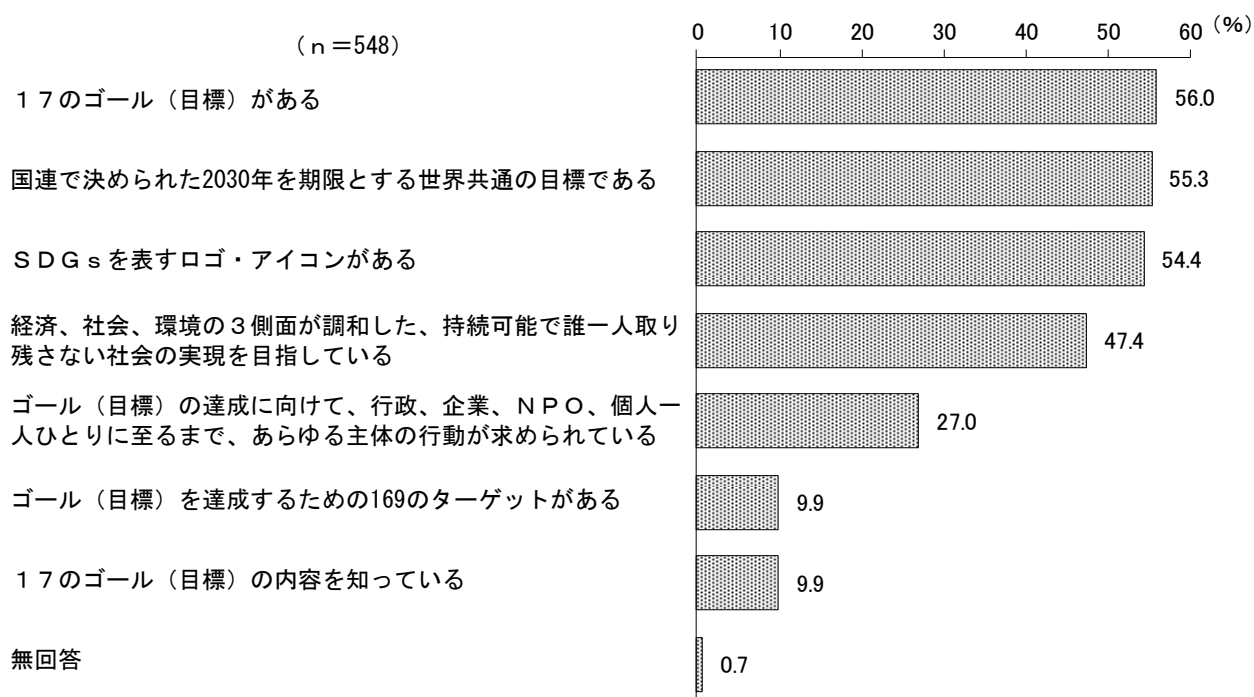
(1-1) SDGsのどのようなことを知っているか

(問15で選択肢「知っている」を選んだ方のみお答えください)

問15-1 SDGs(イディージ-ズ)について、どのようなことを知っていますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=548]

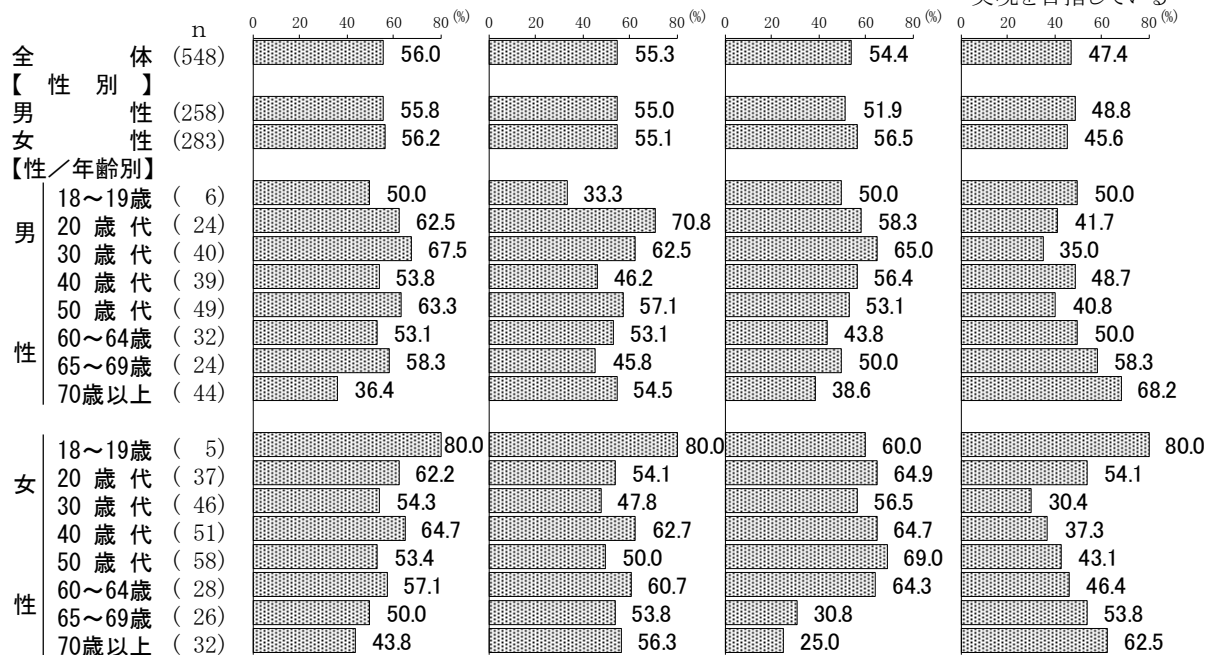
1	国連で決められた2030年を期限とする世界共通の目標である	55.3%
2	SDGsを表すロゴ・アイコンがある	54.4
3	17のゴール(目標)がある	56.0
4	ゴール(目標)を達成するための169のターゲットがある	9.9
5	経済、社会、環境の3側面が調和した、持続可能で誰一人取り残さない社会の実現を目指している	47.4
6	ゴール(目標)の達成に向けて、行政、企業、NPO、個人一人ひとりに至るまで、あらゆる主体の行動が求められている	27.0
7	17のゴール(目標)の内容を知っている	9.9
	(無回答)	0.7



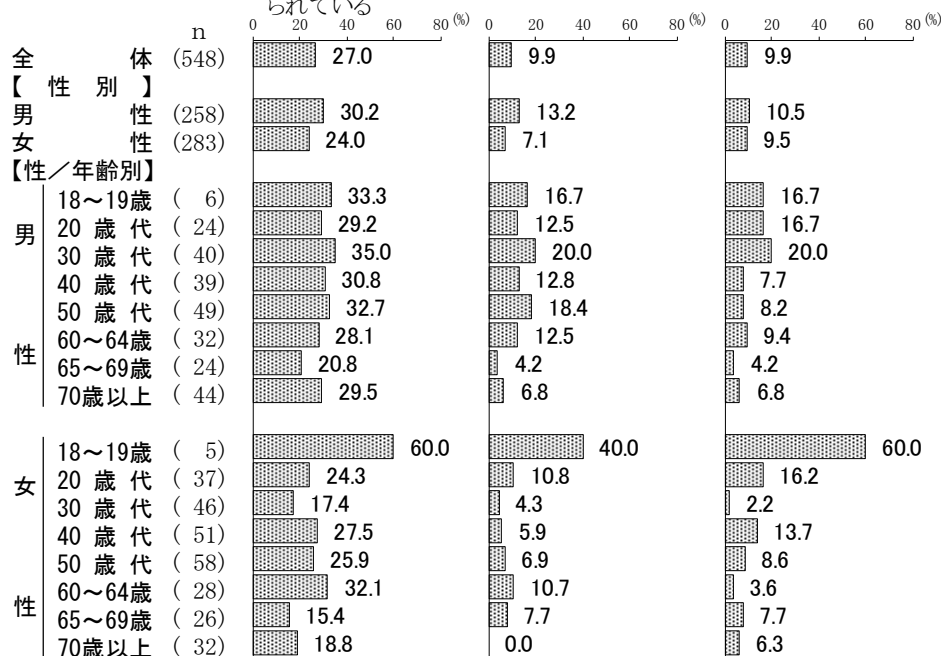
全体でみると、「17のゴール(目標)がある」(56.0%)が5割半ばで最も高く、次いで「国連で決められた2030年を期限とする世界共通の目標である」(55.3%)、「SDGsを表すロゴ・アイコンがある」(54.4%)、「経済、社会、環境の3側面が調和した、持続可能で誰一人取り残さない社会の実現を目指している」(47.4%)、「ゴール(目標)の達成に向けて、行政、企業、NPO、個人一人ひとりに至るまで、あらゆる主体の行動が求められている」(27.0%)の順となっている。

[性別・性／年齢別]

- 17のゴール(目標)がある
- 国連で決められた2030年を期限とする世界共通の目標である
- SDGsを表すロゴ・アイコンがある
- 経済、社会、環境の3側面が調和した、持続可能で誰一人取り残さない社会の実現を目指している



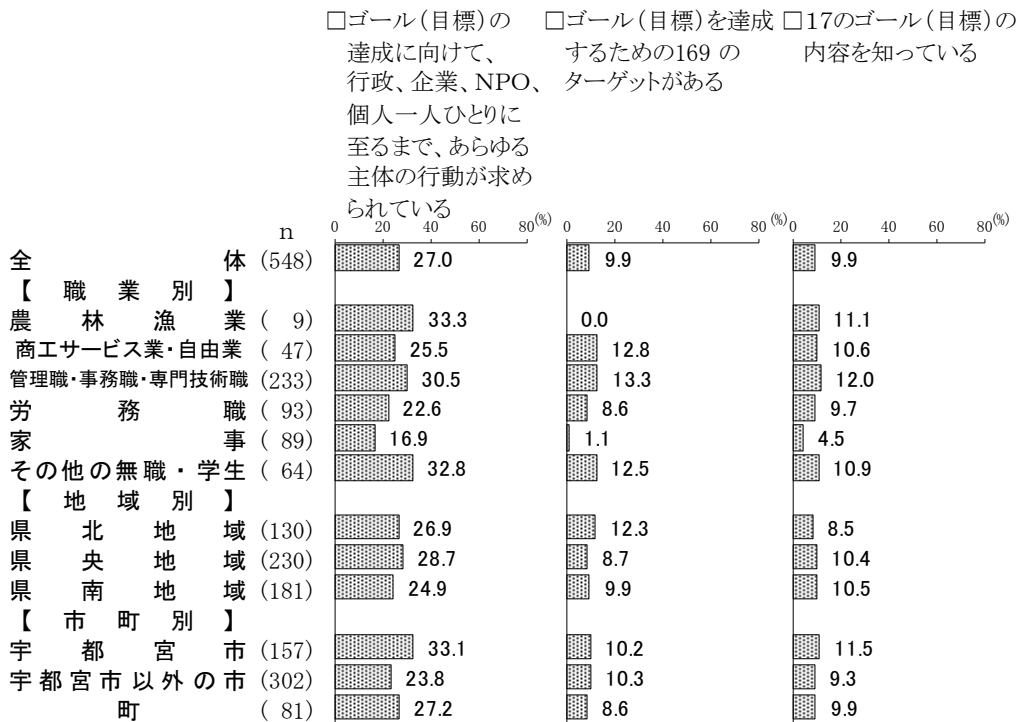
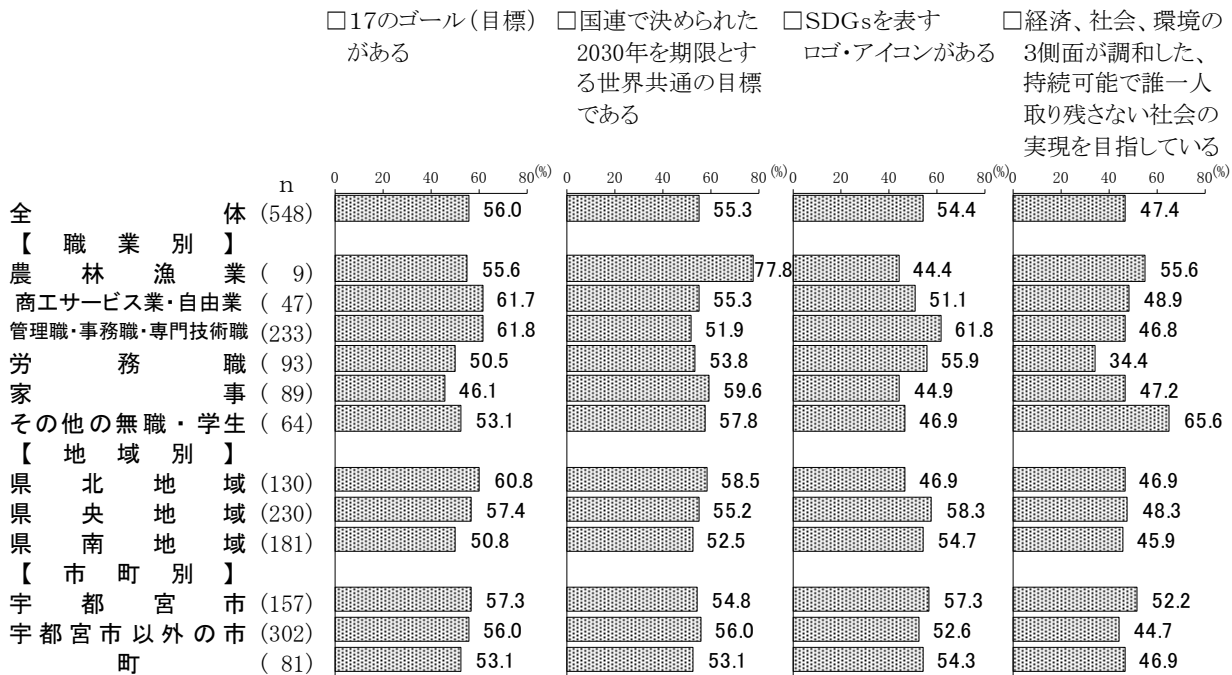
- ゴール(目標)の達成に向けて、行政、企業、NPO、個人一人ひとりに至るまで、あらゆる主体の行動が求められている
- ゴール(目標)を達成するための169のターゲットがある
- 17のゴール(目標)の内容を知っている



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「経済、社会、環境の3側面が調和した持続可能で誰一人取り残さない社会の実現を目指している」では〈男性70歳以上〉が68.2%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、「SDGsを表すロゴ・アイコンがある」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が61.8%と高くなっている。「経済、社会、環境の3側面が調和した持続可能で誰一人取り残さない社会の実現を目指している」では〈その他の無職・学生〉が65.6%と高くなっている。

地域別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

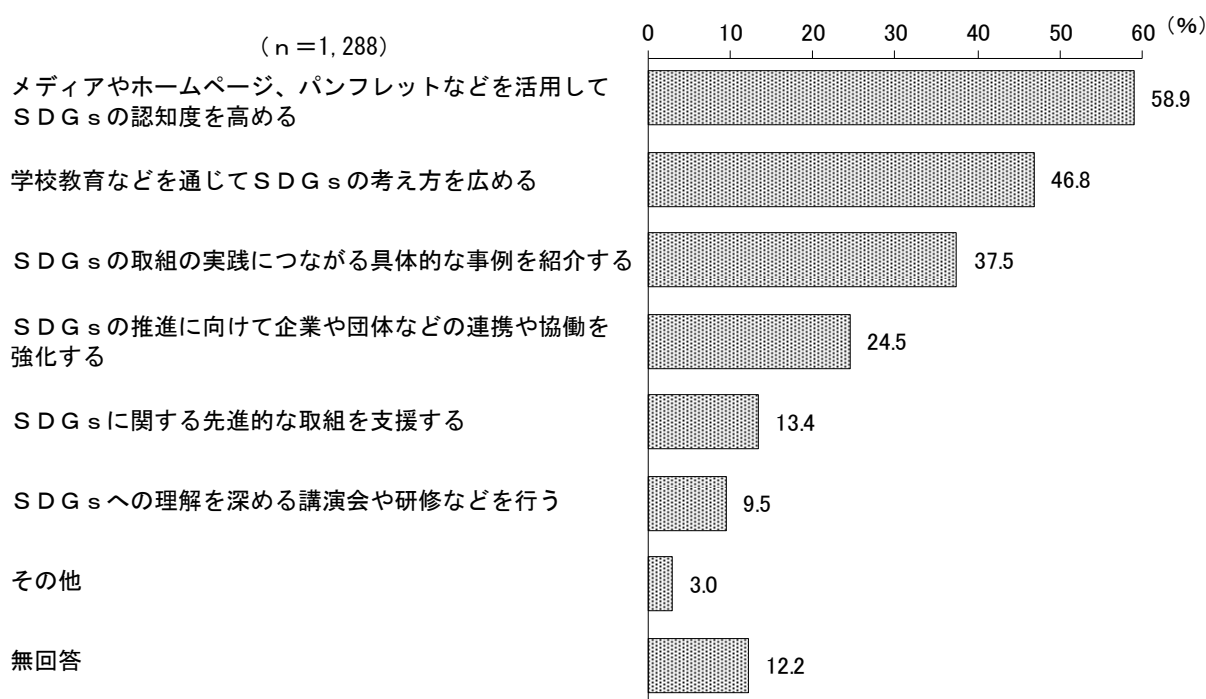
市町別で見ると、「経済、社会、環境の3側面が調和した持続可能で誰一人取り残さない社会の実現を目指している」では〈宇都宮市〉が52.2%と高くなっている。

(2) SDGsに対する理解・促進の方法

問16 行政、県民、企業、NPO等、あらゆる主体がSDGs(イシューズ)に対する理解を深め、その理念を踏まえて行動していくことが重要となっています。今後、SDGs(イシューズ)に対する理解や取組を促進していくためには、どのような方法が有効だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

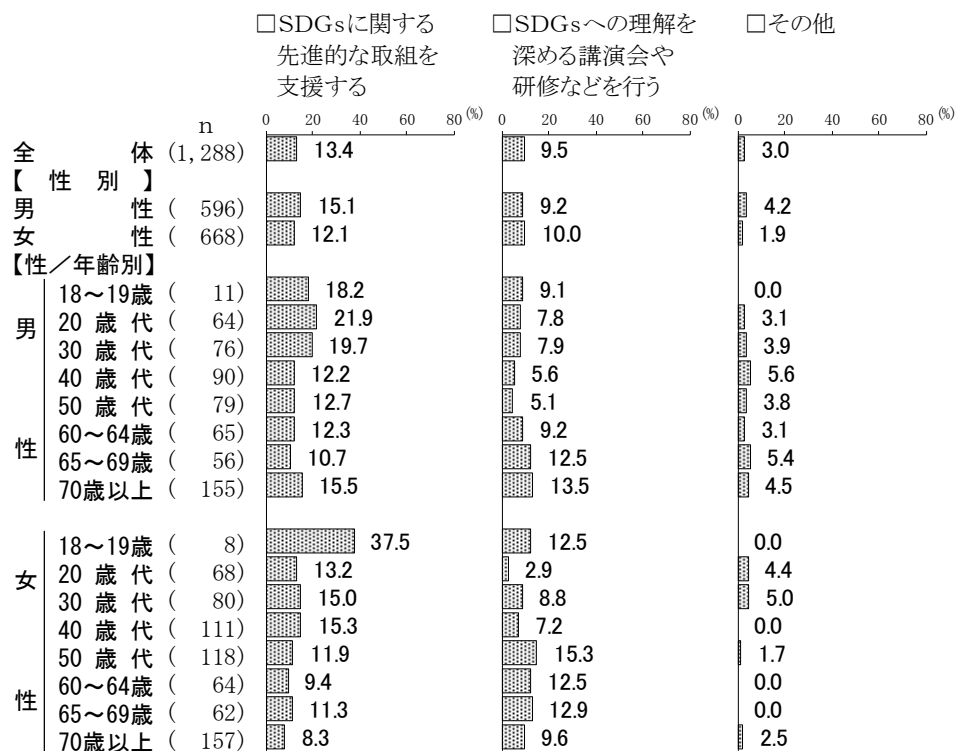
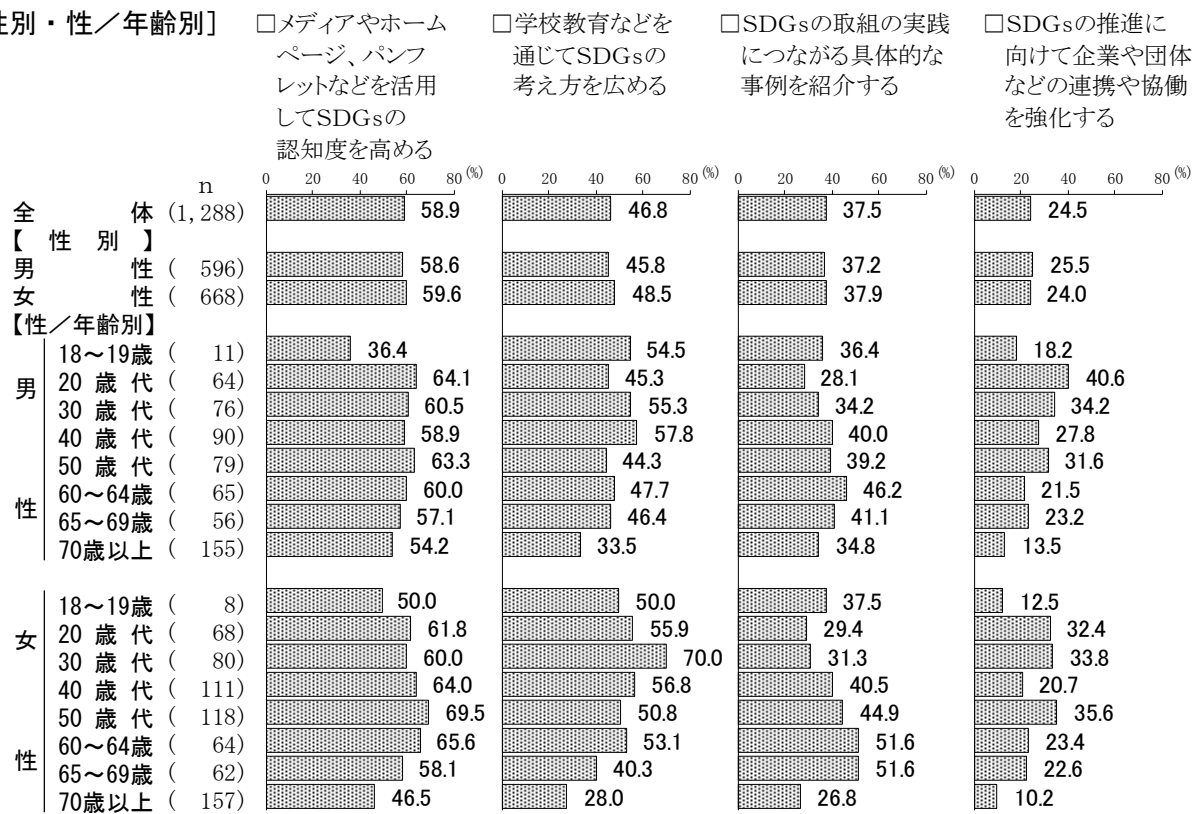
[n=1,288]

1	メディアやホームページ、パンフレットなどを活用してSDGsの認知度を高める	58.9%
2	学校教育などを通じてSDGsの考え方を広める	46.8
3	SDGsへの理解を深める講演会や研修などを行う	9.5
4	SDGsの取組の実践につながる具体的な事例を紹介する	37.5
5	SDGsの推進に向けて企業や団体などの連携や協働を強化する	24.5
6	SDGsに関する先進的な取組を支援する	13.4
7	その他	3.0
	(無回答)	12.2



全体で見ると、「メディアやホームページ、パンフレットなどを活用してSDGsの認知度を高める」(58.9%)が6割近くで最も高く、次いで「学校教育などを通じてSDGsの考え方を広める」(46.8%)、「SDGsの取組の実践につながる具体的な事例を紹介する」(37.5%)、「SDGsの推進に向けて企業や団体などの連携や協働を強化する」(24.5%)、「SDGsに関する先進的な取組を支援する」(13.4%)の順となっている。

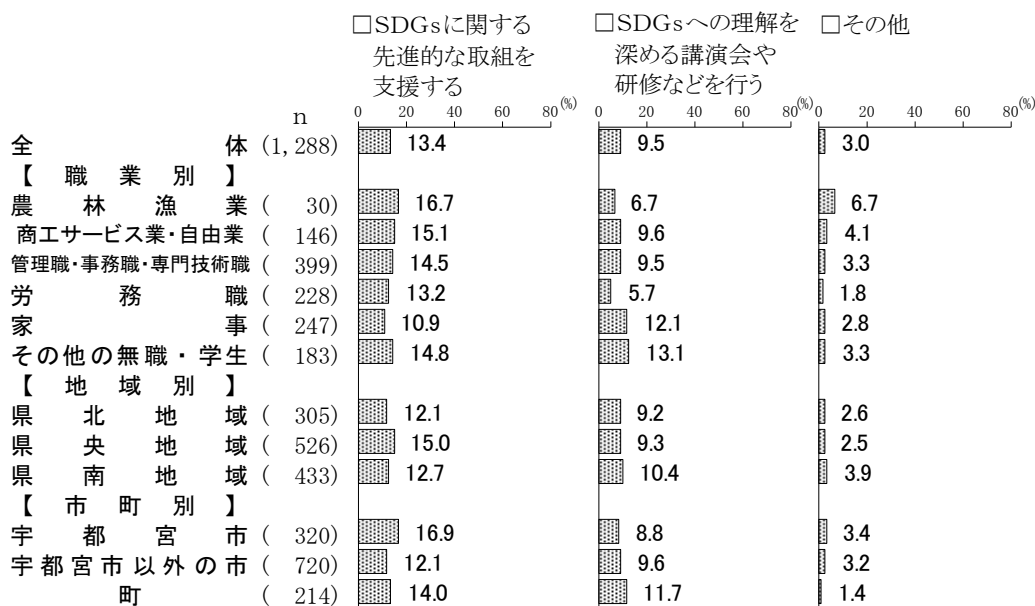
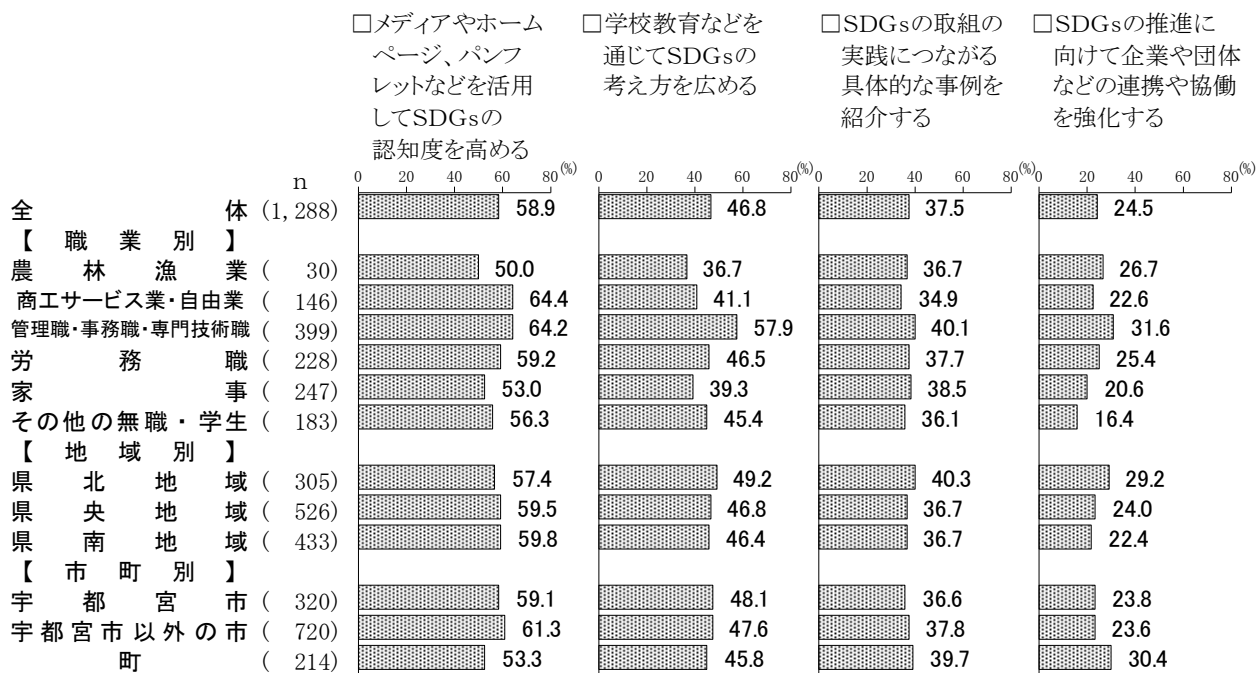
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別で見ると、「学校教育などを通じてSDGsの考え方を広める」では〈女性30歳代〉が70.0%と高くなっている。「SDGsの推進に向けて企業や団体などの連携や協働を強化する」では〈男性20歳代〉が40.6%、〈女性50歳代〉が35.6%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、「学校教育などを通じてSDGsの考え方を広める」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が57.9%と高くなっている。「SDGsの推進に向けて企業や団体などの連携や協働を強化する」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が31.6%と高くなっている。

地域別でみると、「SDGsの推進に向けて企業や団体などの連携や協働を強化する」では〈県北地域〉が29.2%と高くなっている。

市町別でみると、「SDGsの推進に向けて企業や団体などの連携や協働を強化する」では〈町〉が30.4%と高くなっている。